

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: <http://www.konbukuroike.com>

2019年2月

第58号

主な予定

保全活動報告会

3月下旬

於：千葉大学シーズホール

平成31年度

NPO 法人通常総会

4月28日(日)

14:00~16:00

於：管理棟前

柏の葉フォトコンテストについて

さわやかちば県民プラザ

事業振興課 青木 信也 様

柏の葉フォトコンテスト（以下「フォトコンテスト」）は、さわやかちば県民プラザ主催の「ヤングパワームーブメント」（以下 YPM）の受講生が企画・運営をしたイベントです。「YPM」は、「若者が柏の葉地区のまちづくりを通じて、若者自らが考え実践することにより、若者の社会参画の推進を目的とした」講座です。今年度の参加者は高校生3名と社会人1名の計4名でした。

YPMでは、UDCK（柏の葉アーバンデザインセンター）や柏市企画調整課、まちづくりコーディネーターの方を講師に招き、参加者がフィールドワークやアンケート作成・収集・分析、グループワークなどから、柏の葉地区の課題を列挙しました。その中で、「若者の居場所づくり」と「柏の葉地区の豊かな自然」の2つがキーワードとして出されました。この2つのキーワードを満たす場所はどこか、と参加者で話し合った結果、こんぶくろ池自然博物公園（以下「こんぶくろ池」）に決定しました。

こんぶくろ池に訪れた時の感想は、YPMの参加者の全員が「すごい」・「知らなかった」というものだったので、こんぶくろ池の自然を生かして、若者が集まるようにしたいという考えにまとまりました。そのためには、「どうやったら、こんぶくろ池の素晴らしさを伝えることができるか」が課題に挙がりました。議論は白熱しましたが、そんな中で「フォトコンテスト」という意見が出され、話し合いの末、フォトコンテストの実施が決定しました。フォトコンテスト当日は、天候にも恵まれ、フォトコンテストへの参加者は数多くはなかったものの、ポスターやツイッターなどを見て、こんぶくろ池に初めて訪れる方が何人もいらっしやっただので、こんぶくろ池の認知度を上げるということ、また、フォトコンテストの作品は、いずれも素晴らしいものばかりでしたので、こんぶくろ池の自然の素晴らしさを伝えること、それぞれが成功だったと思います。YPMの参加者も大きな満足感を持って、活動を終えることができました。

最後になりますが、このような成功体験ができたのも、NPO 法人こんぶくろ池自然の森のみなさまが今まで大切にこんぶくろ池を守り育

てられたからこそ、と考えています。また、YPMの講師として、UDCK様を始めとして多くの方々にご協力いただき、フォトコンテストや広報では、柏市観光協会様から、景品提供など多くの支援をいただきました。また、当日は写真家の高松典亨様にも、写真撮影の方法を直接アドバイスいただきました。こんぶくろ池という素晴らしい環境を中心として、多くの方々のご支援により、フォトコンテストが無事終了しましたことについて、YPMの関係者を代表して、お礼を申し上げます。

県民プラザ主催のフォトコンテストに協力して

岡本 昇

概要

- 撮影者に対する公園案内ガイド者：市川健治
- 審査員：岡本昇

審査寸評：

中高生の部 金賞・大賞（香川 瑞樹 様）

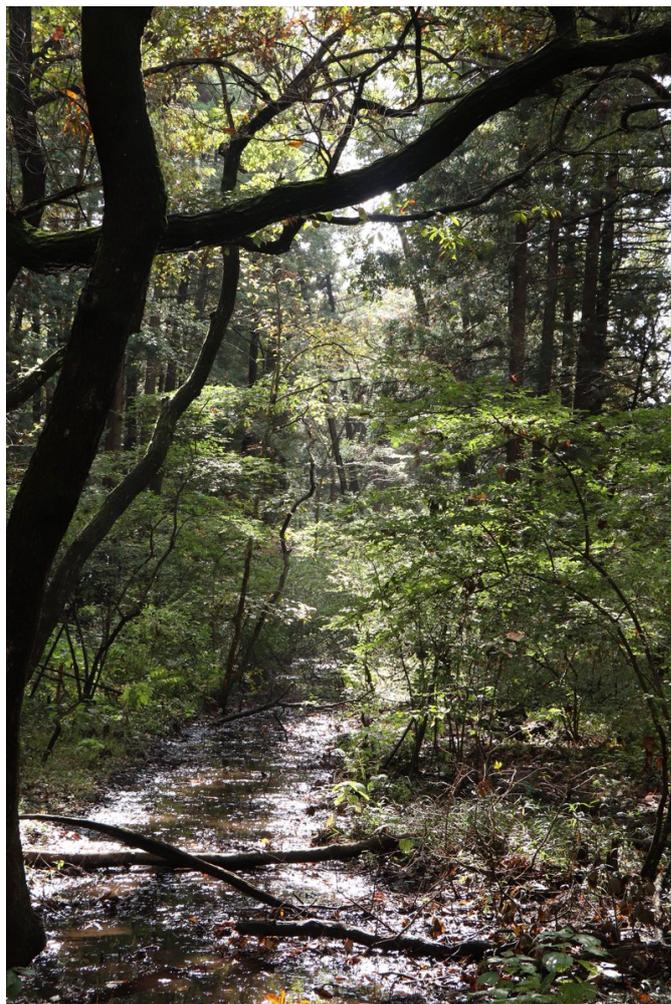
- こんぶくろ池に斜めに差し込む光と、周辺の樹木の陰とが絶妙。池のすがすがしい空気を醸し出して大変良い。
- 水鏡に映える光と樹木の影、加えて水面に浮かぶこの葉は点描のごとくにくい。
- 全体としてバランスの取れた光と陰を取り入れる写真技術は、高校生離れした秀作。



中高生の部 金賞・大賞（香川 瑞樹 様）

中高生の部 銀賞 (飯島 優希 様)

- 弁天池から流れ出す小川の景色を切り取り、遠景と前景の空間表現がお見事。構図もよい。



中高生の部 銀賞 (飯島 優希 様)



一般の部 金賞 (遠藤 光康 様)



一般の部 銀賞 (萩原 良次 様)



小学生の部 金賞 (成毛 好誠 様)

1月の活動報告

新年最初の合同活動日に参加して (1月20日)

米山 要



今日は大寒でしたが、お天気に恵まれ、しかも春のような暖かさも感じられ、絶好の作業日和でした。月1度の合同活動日ということもあり、20数名のメンバーが参加されていました。

定刻となり、作業に入る前に体をほぐすためのラジオ体操を全員で行うと共にミーティングを実施(添付写真参照)。森田さんから「オオタカとズミ」に関する興味深いレクチャをしていただき意見交換もあり、私の錆び付いた脳にとっても新鮮な刺激を与えていただくことが出来ました。

本日、私は①8番路出入口へのバリケード設置、②地金堀観察デッキ下流の土砂浚い、③地金堀北のズミ保全作業路の確保、④ツリフネ草エリアの整備の作業を渡り歩いていました。それぞれの作業を担当された皆様、ありがとうございました。

作業後に皆さんと飲んだコーヒーとお菓子の味、そして松本さん御夫妻の愛娘「向夏(こなつ)ちゃん」の可愛い笑顔に会えたことが、とても良かったです。



2月理事会

2019年2月3日(日) 10:00~13:00

出席理事：石渡、市川、上田、岡本、萩原

オブザーバー：藤原

1. 審議検討事項

(1) 次期役員・事務局員

- 新理事、新事務局員 心当たりの会員にお尋ねする。
- 来年3月末役員の任期満了 県への届け出、法務局への登記が必要。(総会終了後)
- 理事会日程の検討 毎月第1土曜日 10時

(2) 期末業務の確認

- H30年度決算見込み 柏市と解釈が異なるため再調整する。
- H31年度予算案：前年並み
- H31年度 当番予定表 岡本、工藤で準備中(2/12途中確認)
- H30年度事業報告 (3/29(金)柏市へ報告) ドラフト版(総会案内持参)を事前報告：3月上中旬(岡本、石渡)
- H31年通常総会 4/28(日)14時予定 2/12(火)準備状況確認 3月中旬会員宛発送予定。

(3) 保全活動報告会 段取り(NPO→公園緑政課→各アドバイザー→関係者へ周知)→石渡から公園緑政課宛依頼する。NPOとしての報告内容は次回確認

- (4) 持ち込み、持ち出し禁止について カブトムシ育成について 事前の説明がなく理解が得られなかった。→場所、仕様についてはあらためて検討。

持ち込み、持ち出し禁止の原則は、遺伝子の交雑を避けるためと希少種の減少を防ぐため決定したはずであり、人工物の持ち込みまで禁止はしていない。→ 会員へ説明する。

- (5) 情報共有について (NPO 内部 NPO/柏市/アドバイザー) 柏市が行う伐木は事前に連絡をいただくよう手配済み。会員へは理事から連絡をする。

対策：保護の対象は調査班で目印、里山班と共同で作業をする。

- (6) 会員提案 (藤原さんより) 自然観察会、公園ガイドの実施について 保険費用、会費徴収について検討。実施については承認。外部 (T-SITE) との連携など、細部を煮詰める必要がある。

- (7) 2019 カシニワフェスタ：みどりの基金

参加確認、2/5 説明会：岡本

- (8) 岡野さん謝礼の扱い H30 年度の活動に対し謝礼をする。来年度から講師については内部で行うこととする。

2. 報告事項、他

- 里山ネットワーク第2回交流会 3/19 (火) 15:30 パレット 柏：市川出席
- カシニワフェスタ 2019 説明会 2/5 (火) 10:00 市役所第2庁舎：岡本出席
- サンケイリビング新聞社 高橋さん 森コン問合せ：未定として連絡 (石渡)
- 1/26 ボランティア志願 福永さん 里山活動見学、次回も参加希望：2/3 見学
- 12/8 忘年会残金 15 千円余：作業後のお茶会費用とする。
- 柏市が案内看板設置予定、年度末予算での対応 (2/5 公園緑政課より確認の E-mail あり)
- インターネット回線設置要望：柏市からの回答 (市費での設置事例無し、実施不可)

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。